

答申骨子（案）について

◆はじめに

I. 阪南市小中学校をめぐる現状と課題

1. 阪南市の人口推移と将来推計

- ・総合計画による人口推計
- ・国立社会保障人口問題研究所データでの人口推計

2. 児童生徒数の現状と今後の見込み

- ・総合計画による児童生徒数の推計
- ・現在の学校の減少率を算出した推計

3. 学校規模の現状と今後の見込み

(1) これまでの学級数の推移

- ・通常の学級数の推移
- ・特別支援学級の推移

(2) 今後の学級数の推移

- ・令和6年度～令和22年度までの推移

(3) 適正規模に満たない学校

- ・小学校、中学校の学校数（令和6年度と令和22年度）

4. 学校規模による課題

(1) 小規模校の長短所

- ・メリット、デメリットを表で表す。

(2) 特別支援学級と教室数の確保

- ・特別支援学級の増加や教室がないことを示す

II. 阪南市の教育状況や検討事項

(1) 阪南市教育大綱について

(2) 学校園教育基本方針について

(3) ソフト面についての検討

ア 小中一貫教育について

イ 学校と地域について

ウ 学校選択制について

エ 支援教育について

オ 少人数学級について

カ 阪南市 GIGA スクールビジョンについて

キ 海洋教育について

ク 英語教育について

(4) ハード面についての検討

ア 施設の老朽化等

- イ 防災機能
- ウ 学校跡地の取扱い
- エ 留守家庭児童会
- (5) その他の検討

財政について

Ⅲ. 阪南市立小中学校の適正規模・適正配置のあり方

1. 小中学校の適正規模・適正配置の検討にあたって

(1) 阪南市の現状の小中学校の適正な学校規模の基本的な考え方

(2) 現行の法制度

- 〔・国の標準規模
- ・学級編成の標準〕

(3) 適正な学校規模・学校配置

2. 留意点について

- 〔・適正規模・適正配置をすすめる中での注意事項
- (例) 通学について、適正規模等を見直すタイミングなど〕

Ⅳ. まとめ

◆おわりに

◆資料編

※〔 〕は記載する内容を表しています。